











參考資料

笠岡東中学校区で育んでいきたい資質・能力

	前期			中期			後期		
	小1・2	小3・4	小5・6・中1	中2・3					
育てたい力	小1・2	小3・4	小5・6・中1	中2・3					
定義	小1・2	小3・4	小5・6・中1	中2・3					
粘り強さ	やるべきことや課題に対して、粘り強く取り組みることができる。	やるべきことや課題に対して、最後まで粘り強く努力を続けることができる。	やるべきことや課題に対して、自分の役割と責任を自覚し、最後まで粘り強く努力を続けることができる。	自己の設定した課題に対して、自分の役割と責任を自覚し、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げることができる。					
自分をコントロールする力	場面に応じて、自分の気持ちを整理し、行動することができる。	場面に応じて、自分の気持ちを整理し、落ち着いた行動をすることができる。	場面に応じて、自分の気持ちを整理し、その場にふさわしい行動をすることができる。	自分のおかれている状況を客観的に捉え、自分の気持ちを整理し、その場にふさわしい行動をすることができる。					
主体性	自分なりの目標を決め、それに向けて、進んで行動することができる。	自分なりの目標の達成や自分の役割を果たすための方法を考え、進んで行動することができる。	自分なりの目標の達成や自分の役割を果たすための方法を考え、責任をもって行動することができる。	より高い目標を設定し、主体的に考え、判断し、責任をもって行動することができる。					
挑戦力	夢や目標を実現するために、初めてのことや難しい課題に前向きに挑戦することができる。	夢や目標を実現するために、初めてのことや難しい課題に挑戦し、前向きな姿勢で取り組むことができる。	夢や目標を実現するために、初めてのことや難しい課題にも積極的に挑戦し、前向きな姿勢で取り組むことができる。	夢や目標を実現するために、試行錯誤をしながらも失敗を恐れず、自信をもって取り組むことができる。					
コミュニケーション力	あいさつや返事を進んで行うことができる。自分の思いや考えを伝えたり、相手の思いや考えを聞いたりすることができる。	場にふさわしいあいさつや返事を進んで行うことができる。自分の思いや考えを分かりやすく伝えたり、相手の思いや考えを最後まで聞いたりすることができる。	心を込めて、場にふさわしいあいさつや返事を進んで行うことができる。相手の気持ちを考えながら、自分の思いや考えを分かりやすく伝えたり、相手の思いや考えを最後まで聞いたりすることができる。	社会の一員として心を込めて、場にふさわしいあいさつや返事を進んで行うことができる。自分の思いや考えを相手に伝えるときにも、それぞれの立場を尊重し、いろいろなもの見方・考え方があることを理解することができる。					
思いやる力	友達のことを考え、声をかけたり、手助けをしたりすることができる。	身近な人のことを考え、優しく声をかけたり、手助けをしたりすることができる。	周りの人のことを考え、優しく声をかけたり、進んで手助けをしたりすることができる。	誰に対しても思いやりの心をもち、互いに励まし合い、相手の話や思いに共感し、進んで手助けすることができる。					
協力・協働	目標に向かって、友達と協力して取り組むことができる。	共通の目標に向かって、お互いの考えを大切にし、身近な人と協力して取り組むことができる。	共通の目標に向かって、異なる意見を大切にし、良いところを認め合ったり、折り合いをつけたりしながら、周りの人と協力して取り組むことができる。	より良い社会の実現に向けて、多様な立場の人と協働し、地域の人・もの・ことに積極的に関わることができる。					
自分と向き合う力									
自分を高める力									
他者とつながる力									

素直さと自分のよさから前向きさへ 寄島小学校の「自己肯定感」

寄島小学校の「自己肯定感」とは、①素直さをもって、②自分のよさを分かっているから、③前向きに取り組むことができる非認知能力である。さらに、自分だけでなく周囲の人たちに対しても同様にとらえたり関わったりするための力でもある。

<p>①素直さ</p> <p>自分のありのままを受け入れ、相手のことも偏見などを持つことなく受け入れられること</p> 	<p>自分の考えや気持ちをそのまま表現することができる</p> 	<p>自分の考えや気持ちを自ら表現できている</p> <p>自分の考えや気持ちを支援されて表現できている</p> <p>自分の考えや気持ちを表現しようとしている</p>		
	<p>自分とは異なる相手の意見を受け入れることができる</p> 	<p>自分と相手の意見をつなげて考えることができている</p> <p>自分と相手の意見の違いをわかっている</p> <p>相手の意見を聞くことができている</p>		
	<p>自分から相手に感謝や謝罪も伝えることができる</p> 	<p>感謝や謝罪を自ら伝えることができている</p> <p>感謝や謝罪を支援されて伝えることができている</p> <p>感謝や謝罪を伝えようとしている</p>		
	<p>②自分のよさ</p> <p>自分自身を肯定的にとらえられるとともに、相手に対しても肯定的にとらえられること</p> 	<p>自分のよさに気づき、その自分のよさを伝えることができる</p> 	<p>自分のよさを自ら伝えることができている</p> <p>自分のよさを支援されて伝えることができている</p> <p>自分のよさを伝えようとしている</p>	
		<p>相手のよさに気づき、その相手のよさを伝えることができる</p> 	<p>相手のよさを自ら伝えることができている</p> <p>相手のよさを支援されて伝えることができている</p> <p>相手のよさを伝えようとしている</p>	
		<p>相手のよさを自分のよさとして取り入れることができる</p> 	<p>相手のよさが自分の中にもあらわれている</p> <p>自分にはない相手のよさがわかっている</p> <p>相手のよさを具体的に挙げるができている</p>	
		<p>③前向きさ</p> <p>いろんな課題に直面したとき、あきらめずに改善や工夫、他者との協力ができること</p> 	<p>いろいろな課題に対して、自ら積極的に取り組むことができる</p> 	<p>複数の課題であっても進んで取り組むことができる</p> <p>複数の課題に関心を広げることができる</p> <p>特定の課題に進んで取り組むことができる</p>
			<p>課題がうまくいかなくても、工夫や改善をすることができる</p> 	<p>解決のための工夫や改善を実行することができる</p> <p>解決のための工夫や改善を考えることができる</p> <p>上手くいかなくても投げ出さないことができる</p>
			<p>課題に取り組む中で、相手に頼り、相手と協力することができる</p> 	<p>お互いの弱みを補い、強みを生かすことができる</p> <p>相手と一緒に協力して取り組むことができる</p> <p>相手に対して頼ったり誘ったりすることができる</p>

○地域学校協働活動推進員等の役割について 実践者5名へのヒアリング結果

① 地域側としての学校との関わり

実践者1 (一社) やかげ小中高子ども連合代表理事

学校との関係づくり

- ・ 学校の管理職や教職員の理解を得るために、こまめな報告・調整を行い、学校の教育課程等を理解することに時間をかけている。
- ・ 学校行事や学習内容に関連した活動を提案するなど、学校の負担軽減につながる活動になるよう留意している。

関係者との目的の共有

- ・ 学校へ赴き、当該団体のチラシなどを用いて、団体の活動内容や、活動を通じた子どもたちの成長について日頃から説明を行っている。活動に参加する子どもの変化などから、学校の理解も徐々に深まっている。

活動に当たり心がけていること

〈活動の企画立案や実施について〉

- ・ 活動内容については、子どもの思いを大切にしている。
- ・ 活動を通じて、大人から子どもたちへアドバイスや提案を行うこともあるが、基本的に、子どもたちの中から生まれてくる「やってみたい」「楽しそう」という思いを大切にし、子どもたちの選択や企画をサポートしている。
- ・ 幅広い地域住民に活動へ参加してもらうために、学校や地域の活動の一部分だけにでも関わることができるなど、柔軟性や気軽さが肝心であると意識し活動している。

実践者2： 久米南町地域おこし協力隊 ※

※協力隊の活動の中で、中高生が中心となり、久米南町の商店街の活性化を図る「未来商店街」事業のコーディネーターを務める。

学校や行政との関係づくり

- ・ 町内の3小学校は地域とのつながりを持ち、地域も教育活動に協力的な基盤がある。学校と地域関係者の間で直接的なやり取りが行われているため、地域おこし協力隊は必要に応じて学校と地域学校協働活動関係者等との連絡・調整を行っている。

関係者との目的の共有

- ・ 中学校では令和3年度から新たに地域学習（久米南学）が始まり、コーディネーターとして、学校と地域の連絡・調整を行う中で、お

互いの思いや意見を共有する等、双方の関係性を構築中である。

- ・ 「久米南町未来商店街」において、行政と学校、行政と地域という関係性はできているが、中学校と地域が直接関わる機会は少なく、今後の課題である。

活動に当たり心がけていること

〈企画立案や活動実施に関して〉

- ・ コロナ禍で「久米南町未来商店街」の実施は難しい状況であるが、中高生が活躍できる場や中高生と地域の人との結びつきを持てるように実行委員会の開催を続けている。

〈関係者との調整に関して〉

- ・ 授業等で教員が対応できない時間帯においては、地域おこし協力隊が地域のボランティア等と打合せを行っている。

② 行政担当者としての学校・地域との関わり

実践者3 井原市教育委員会担当者

学校や地域との関係づくり

- ・ 市内全小・中学校区（13小・5中）にひとつづくりネットワーク運営協議会を設置した。
- ・ 各学校区の代表者により組織する井原市ひとつづくりネットワーク運営協議会を立ち上げ、年2～3回の協議会、懇談会を実施し、学校区を越えた情報共有や、関係者の資質向上につながる情報の提供を行っている。

関係者との目的の共有

- ・ 各学校区の実情に応じて年2～3回の協議会（協議会員による企画会議）、年1～2回程度の懇談会（協議会員及び地域人材による熟議を取り入れた研修会）を開催し、目指す子ども像（必要に応じて学校像、地域像、家庭像も検討）を踏まえた地域学校協働活動を推進している。

活動に当たり心がけていること

〈企画立案や活動実施に関して〉

- ・ 各学校区での取組は、各協議会（学校）に委ねているが、依頼や相談があれば、教育委員会事務局員やひとつづくりアドバイザーが助言等の支援や熟議のファシリテーション等を行っている。その際は、各学校区の実情を踏まえ、「一律型」、「トップダウン型」にならないように配慮するとともに、機会をとらえ、地域学校協働活動の好事例を発信するよう心がけている。
- ・ 各協議会（学校）に対しては、取組の進捗状況の報告を適宜依頼し、

現状の把握とともに、必要に応じた助言に努めている。

〈関係者との調整に関して〉

- ・ 地域住民との連絡・調整については、各協議会（学校）を通して実施している。外部人材とのマッチングや本事業に対する要望や問合せ等の各協議会（学校）との連絡・調整については、教育委員会の担当者が窓口となり対応している。

③ 学校関係者としての地域との関わり

実践者 4：浅口市立寄島小学校長

地域との関係づくり

- ・ 保護者や地域の方、学校ボランティア等が来校したり、地域で会った時などは、気軽に声をかけ、信頼関係を構築している。
- ・ 地域学校協働活動に校長が率先して参加し、人間関係を深めている。
- ・ 「校長室だより」を作成し、地域に配布することで、校長の考えや学校の取組を発信している。

関係者との目的の共有

- ・ 学校や地域の現状や課題を把握するため、アンケートを実施した。アンケート結果や地域住民等との熟議により、学校と地域の共通目標「CS 共育目標」を作成した。「CS 共育目標」は、アンケート結果とともにフィードバックし、教職員、保護者、地域住民で共有している。
- ・ 教職員、保護者、地域住民、児童生徒がフラットな関係で互いの考えを出し合う場として、熟議を設けている。

活動に当たり心がけていること

〈企画立案や活動実施に関して〉

- ・ 「CS 共育目標」を達成するため、学校運営協議会の下部組織や校内体制を整備するとともに、地域学校協働活動において、地域が主体となって企画運営をしなければ地域の活性化につながらないことを伝え、当事者意識の醸成を図っている。
- ・ 地域に開かれた教育課程「よりしま学」を通じて、子どもだけではなく、教職員も地域住民とともに地域を学び、双方が当事者として考え、行動できるよう意識変革を図っている。

〈関係者との調整に関して〉

- ・ 地域と持続可能で緩やかなネットワークを構築していくために、学校の窓口として主幹教諭がプロジェクトマネージャーを担当し、4名の地域の魅力化コーディネーターと連絡調整を行うよう体制を整えた。

実践者5 勝央町立勝間田小学校長

地域との関係づくり

- ・ 校長が率先して、毎朝の見守り活動（あいさつ運動）や地域の行事等に積極的に参加し、地域住民との顔合わせや情報交換等を行うよう心がけている。

関係者との目的の共有

- ・ 年間6回開催する学校運営協議会のうち2回は教職員も参加するよう促し、テーマに沿った熟議を行い、学校・地域・家庭での取組や連携・協働して行うことの共通理解を図っている。
- ・ 学校と地域の相互理解のために、校長と地域連携担当教職員が勝央町コーディネーター連絡会へ出席し、取組の課題や目的を共有している。
- ・ 学校が目指す「夢育の推進」や「非認知能力の育成」の方向性や、関連する取組等について、学校だよりのほか、勝央町の広報誌を活用し、広く町民に対しても紹介している。

活動に当たり心がけていること

〈企画立案や活動の実施に関して〉

- ・ 教職員の意識を高めることが必要と考え、学校経営計画書の中に「地域との連携に関する内容」を位置付け、教職員の意識高揚と取組の充実を図っている。

〈関係者との調整に関して〉

- ・ 定期的にコーディネーターに来校してもらい、教頭・地域連携担当教職員と意見交換をしている。